ドイツ文學研究

報告第32号

1986

京都大学教養部ドイツ語研究室

目 次

高安国世編・訳の日本詞華集 ≫Ruf der Regenpfeifer≪について (上) 野村 修	(1)
リルケ『オルフォイスへのソネット』における果実 田 口 義 弘	(34)
シャンドス卿とフランシス・ベーコン小 岸 昭	(62)
シーズレクのサガ 84章~136章 ヴェーレントの物語(その1) 	(96)
ルカーチと DDR における文化遺産継承の問題 林 功 三((121)
ドイツ語統語論研究史 (2) 第1章 M. Luther から K.F. Becker まで (その2) 西 本 美 彦 一	1 —

Inhalt

Osamu Nomura: Über das Buch
≫Ruf der Regenpfeifer≪ (I. Teil)
(1)
Yoshihiro Taguchi: Die Erfahrung der Früchte
in Rilkes Sonetten an Orpheus
(34)
Akira Kogishi: Philipp Lord Chandos und
Froncis Bacon
(62)
Mitsunobu Ishikawa: þiðreks saga Kap. 84–136
—Geschichte von Velent—(I)
(96)
Kozo Hayashi: Georg Lukács und Probleme
der Übernahme des kulturellen Erbes in der DDR
(121)
Yoshihiko Nishlimoto : Versuch einer Geschichte
der deutschen Syntaxforschung (2)

ドイツ文学研究

編集兼発行者 京都大学教養部ドイツ語研究室

報告第32号(非売品) 代表者 飛 鷹 節

1987年3月20日 印刷 印 刷 所 日 本 印 刷 出 版 株 式 会 社 1987年3月20日 発行 大阪市福島区吉野1丁目2番7号